

セイジズム♪

ある日のこと…

オレは政治なんかよくわかんないけど・・・
みんなはどう考えてんだろ。



・・・ということで、クラスの皆さん（34人）にアンケートをとりました。

＊あなた自身、政治に興味がありますか？

Yes→15人

理由

- ・歴史、時事問題やニュースが面白いから、
- ・日本国について、知らない所が結構、
- ・選挙権があるから興味があるから！ etc.

No→18人

理由

- ・国、政治家のことは、知らないから、
- ・政治に興味がないから、
- ・何もないから、 etc.

みんな興味があるだけで 知らないじゃん!!

そもそも、政治ってなんなんだろう

「何やってるんだろう？」
「政治のこと知りたくない？」

そんな疑問の中…

社会科の先生に
教えてもらいました!!



えっ!!



「政治」ってこんなに楽しいものだったの?!

みんなに知ってほしい!!

どうやったら みんなが興味を持ってくれるのだろうかもってくれるのだろうか……

・・・ということで、政治教育の現状を例にあげて、
日本と外国と比べてみました。



日本

- ・小学、中学で「社会科（公民）」、
高校で「現代社会」「政治・経済」
「倫理」の教科がある。



ドイツ

- ・州ごとに中等教育段階から
「政治教育」の教科が設けられている。
- ・政府機関の「政治教育センター」が
中産生を「有権者」として
ジュニア選挙などを実施。

アメリカ

- ・政治関連の本を読む宿題が
出され、それに基づいた討論が行われる。
- ・高校生は日常的に新聞の政治版、経済版を
見ることが求められている。
- ・模擬選挙も実施。

イギリス

- ・2002年8月から、12～14歳と15～16歳において、
「シチズンシップ教育」という教科が必修に。

●シチズンシップ教育の目的

- ・コミュニティとの関わり方の育成
- ・社会的、倫理的関心の育成
- ・政治的意識の育成
- ・模擬選挙 など

へー。

他の国では授業で「選挙」をやるんだ・・・。
オレらは選挙の仕組みくらいしか習ってないよな。
しかもイギリスは12歳からやってんのか・・・。
やっぱり小さいころからの積み重ねが大切なんだな。



